

長崎県中山間ふるさと活性化基金

議 題

① 平成 20 年度 事業報告

- ・ 収支決算, 事業報告
- ・ 報告事項: 「長崎県のだんだん畑十選」認定地区について
- ・ 報告事項: 第 14 回全国棚田 (千枚田) サミットについて

② 平成 21 年度 事業計画

- ・ 収支予算 (案), 事業計画
- ・ 平成 21 年度の推進方針 (案)
長崎県のだんだん畑十選の普及啓発活動の強化
耕作放棄地対策の推進

(配付資料)

- ・ 第 2 回長崎の農業・農村写真コンテストの募集チラシ
- ・ 第 14 回全国棚田 (千枚田) サミット 新聞記事
- ・ 全国棚田 (千枚田) 連絡協議会機関誌 「ライステラス」
- ・ 長崎の農業・農村写真コンテスト 入賞作品集

長崎県中山間ふるさと活性化基金

① 平成20年度 事業報告

平成20年度 事業報告

1. 事業報告

項目	活動内容	備考
全国研修会(東京)	環境教育生態系コース(坂本、松永、渋川、山本、園田指導員)	
全国研修会(岡山)	環境教育Aコース+田んぼの学校企画コンテスト入賞グループ報告会(宮本、松川、神宮指導員)	
全国研修会(大阪)	環境教育Bコース(石橋指導員)	
全国研修会(茨城)	環境教育Cコース(田中指導員)	
県内研修会	10/16~18 大中尾棚田、清水棚田他	
指導員活動費助成	ふるさと水と土指導員・推進員総合補償保険料	長崎市
	大中尾地区彼岸花植栽	長崎市
	おぎた田んぼの学校	平戸市
	鬼木棚田まつり	波佐見町
	木場棚田だんだん祭り	川棚町
	土谷棚田の火祭り	松浦市
	岳棚田の地域おこし	雲仙市
	野崎島地区自然と歴史と水の学習	小値賀町
	尾上地区農作業体験・景観作物植栽	南島原市
	原の辻地区農作業体験	吉岐市
普及啓発活動		
先進事例資料収集	1. 776部購入(季刊年4回56、57、58、59号)	
普及啓発資料作成	中山間棚田地域PRパンフレット「こころの故郷」1,000部増刷	
長崎県のだんだん畑十選の認定関係	認定地区の写真パネル作成、写真展示会の開催、表彰式関係(認定市、認定地区旅 広告資料の作成・配布 入賞作品集の購入(1,150部) 表彰式関係(賞状作成、入賞者旅費、入賞賞金)等	
写真コンテスト関係	きれいかばい！長崎の農村風景写真展(長崎県美術館、佐世保市島瀬美術センター)	
写真展開催	10/16~18 大中尾棚田、清水棚田他	
全国棚田サミット		

2. 決算

科	目	収入		増減		摘	要
		予	算	算	部		
1.	中山間基金		6,022,000	5,930,574	△ 91,426	当初:0.6%	
	運用益		6,022,000	5,205,310	△ 816,690	決算:実績	
	元金取り崩し		0	725,264	725,264		
2.	棚田基金		3,600,000	3,548,298	△ 51,702	当初:0.6%	
	運用益		3,600,000	3,111,733	△ 488,267	決算:実績	
	元金取り崩し		0	436,565	436,565		
	計		9,622,000	9,478,872	△ 143,128	当初:0.6%	
	運用益		9,622,000	8,317,043	△ 1,304,957	決算:実績	
	元金取り崩し		0	1,161,829	1,161,829		

科	目	支出		増減		摘	要
		予	算	算	部		
1.	中山間基金		6,022,000	5,930,574	△ 91,426	当初:0.6%	
	研修事業		660,000	707,570	47,570	決算:実績	
	地域活動支援		2,848,500	2,647,302	△ 201,198		
	普及啓発活動		2,513,500	2,575,702	62,202		
2.	棚田基金		3,600,000	3,548,298	△ 51,702	当初:0.6%	
	広報活動・普及啓発活動		2,696,500	3,294,158	597,658	決算:実績	
	人材育成・地域活動支援		903,500	254,140	△ 649,360		
	保全活動支援		0	0	0		
	計		9,622,000	9,478,872	△ 143,128		

3. 報告事項

- ①長崎県のだんだん畑十選
- ②第14回全国棚田(千枚田)サミット

「長崎県のだんだん畑十選」認定地区一覧表

番号	市町名	旧市町村名	地区名	総面積 (ha)	ほ場枚数 (枚)	傾斜	選定理由	営農状況
1	長崎市		宮摺 (みやずり)	48	約500	1/4	「日本一のびわ産地・長崎市」において、橋湾の遠景とびわ畑が織りなす風景は、優れたものを有している。また、地元小学生や修学旅行生を対象としたびわの収穫体験や都市住民を対象とした観光農園ツアーなどを開催しており、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	びわ
2	佐世保市		勝負越 (しょうぶごえ)	35.7	約60	1/3	大村湾や歴史ある針尾無線塔とみかん畑が織りなす風景は、優れたものを有している。また、昭和の歴史を刻む針尾無線塔や九州自然歩道長崎県ルートが近況を通るなど、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	みかん
3	諫早市	飯盛町	飯盛南部 (いもりなんぶ)	182	約1,430	1/6	東に雲仙岳を眺め、南東に橋湾を見下ろす風景やほ場整備されたほ場の造形美は、優れたものを有している。また、ほ場整備された石積上部の土羽には、土地改良区を中心にグラントカバナーラツツ(イワタリソウ)が植栽され、土羽一面を緑で覆い、春から夏にかけては白色や黄色の花を咲かせるなど地域住民活動も活発化しており、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	馬鈴薯 人蔘
4	諫早市	多良見町	野川内 (のこうち)	15.1	約100	1/3	大村湾や山肌の緑とみかん畑が織りなす風景は、優れたものを有している。また、維持保全活動にも取り組んでおり、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	みかん
5	対馬市	峰町	青海 (おうみ)	8.3	約110	1/3	対馬海峡の荒々しい海や澄んだ空とだんだん畑が織りなす風景は、優れたものを有している。また、維持保全活動にも取り組んでおり、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	そば 甘藷 馬鈴薯 長ネギ
6	五島市	福江市	上崎山 (かみさきやま)	237	約950	1/20	全山緑の芝生に覆われた「鬼岳」の山頂から望む大小さまざまな丸畑と五島灘の風景は、優れたものを有している。また、本地区は、ハイキング、風揚げ、遠足、散策、サイクリング、夕焼けマラソンなど多数のイベントが行われ、市民の憩いの場所ともなっている。さらに平安時代より続く郷土芸能も現在に至るまで伝承されており、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	飼料作物 葉たばこ 馬鈴薯 そらまめ
7	雲仙市	南串山町	辺木・小竹木 (へぎ・こたけぎ)	31.4	約800	1/4	山の頂上まで続く急傾斜の坂道に、耕作された雄大な農地が並ぶ自然の風景は、優れたものを有している。また、JA青年部による郵便ボックスの産地直送が実践されており、今後の地域活性化へ向けた取り組みが期待される。	馬鈴薯 シタス たまねぎ かぼちゃ
8	雲仙市	南串山町	椎木川 (しいのきがわ)	7.8	約200	1/5	橋湾や山肌の緑と耕作された雄大な農地が並ぶ自然の風景は、優れたものを有している。また、認定農業者やエコツアーなどの地域の担い手が多い地域であり、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	馬鈴薯 シタス たまねぎ かぼちゃ
9	南島原市	加津佐町	津波見 (つばみ)	20	約500	1/10	天草灘の海原や山肌の緑とだんだん畑を一望できる風景は、優れたものを有している。また、地区内の小学生や修学旅行生の農業体験の受け入れが行われており、民泊を中心としたグリーンツーリズムの計画を行うなど、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	馬鈴薯 シタス
10	長与町		木場 (こば)	61.3	約390	1/3	長与ダムを中心に周りを琴の尾岳に囲まれており、自然が豊かで、美しい景観を有している。また、平成19年度には農用地利用改善団体「夢の郷長与木場」が立ち上げられ、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	みかん
11	長与町		岡北 (おかきた)	33	約240	1/3	琴の尾岳と大村湾に囲まれたみかん畑の風景は、優れたものを有している。また、ホテルの観覧会など地域住民の交流活動が実践されており、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	みかん
12	東彼杵町		坂本 (さかもと)	60	約660	1/8	新緑のお茶と石積が織りなす風景は、優れたものを有している。また、大村藩の御用浮立が伝承されており、歴史を有した地区である。近年はホテルの観覧会や長崎街道復興・松並木づくりが実践されており、今後の地域活性化に向けた取り組みが期待される。	お茶

長崎県のだんだん畑十選位置図

長崎県周辺図



熊本センター	熊本	096-383-8888
大分センター	大分	097-532-8888
宮崎センター	宮崎	0986-25-2000
鹿児島センター	鹿児島	098-208-1331

J A F	
福岡	092-841-5000
北九州	093-951-8139
久留米	0942-43-4552
筑前	0948-29-3900
筑後	0944-56-3900
豊前	0950-22-3900
佐賀	0952-62-3900
佐賀西(筑前)	0954-29-3900
唐津	0955-72-3988
熊本	096-380-9000
八代	0965-39-0213
熊本	096-379-1234
人吉	0966-24-5177
長門	096-811-2111
佐世保	0956-31-3900
諫早	0957-26-3900
豊前	0957-54-1177
大分	097-548-2077
福岡	0977-26-3900
臼田	0973-02-1221
佐賀	0955-62-3900
都塚	0969-38-2961
延岡	0962-21-5454
臼田	0962-52-3900
日南	0967-22-5830
鹿児島	099-250-4040
加治木	0966-62-1191
川内	0966-22-2353

凡 例	
長崎県のだんだん畑十選認定地区	
(参考) 日本の棚田百選認定地区	



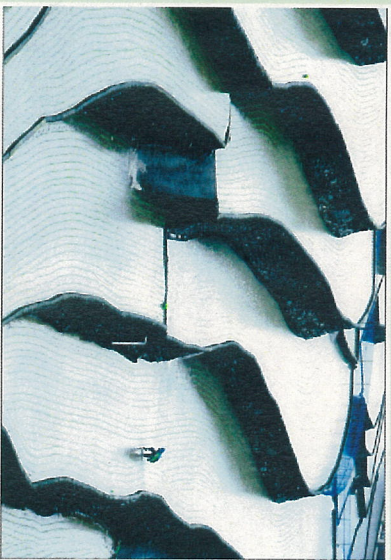
長崎県のだんだん畑十選 認定地区一覧

		
<p>宮脇地区(長崎市)</p>	<p>勝負越地区(佐世保市)</p>	<p>飯盛南部地区(諫早市)</p>
		
<p>野川内地区(諫早市)</p>	<p>青海地区(対馬市)</p>	<p>上崎山地区(五島市)</p>
		
<p>辺木・小竹木地区(雲仙市)</p>	<p>椎木川地区(雲仙市)</p>	<p>津波見地区(南島原市)</p>
		
<p>木場地区(長与町)</p>	<p>岡北地区(長与町)</p>	<p>坂本地区(東彼杵町)</p>

きれかばい!

長崎の農村風景写真展

来てみんな!
見てみんな!
よかばい!



長崎の農業・農村写真コンテスト
長崎県知事賞



長崎県のだんだん畑十選
認定地区 (辺木・小竹木地区)

日本の棚田百選 県内認定6地区、長崎県のだんだん畑十選 認定12地区
長崎の農業・農村写真コンテスト 入賞作品15点を展示しています!
日本の原風景とも呼ばれる棚田の風景を初め、長崎の美しい農村風景をぜひ
ご覧になって下さい。きっと感動できると思います。



【長崎会場】

開催日：平成21年1月27日(火)～2月1日(日)

展示会場：長崎県美術館 運河ギャラリー

【佐世保会場】

開催日：平成21年3月11日(水)～3月15日(日)

展示会場：佐世保市博物館島瀬美術センター 1Fエントランスロビー

※両会場とも入場料は無料です。

主催：長崎県

後

援：長崎県土地改良事業団体連合会

問合せ先：長崎県農林部農村整備課土地改良班

TEL 095-824-1111 (内線2965)

095-895-2965 (直通)

第14回全国棚田（千枚田）サミットの開催報告について

- 1 日時 平成20年10月16日（木）～18日（土）
- 2 主催 全国棚田（千枚田）連絡協議会
第14回全国棚田サミット実行委員会
（会員である雲仙市、長崎市が主体。県も参画。）
- 3 趣 旨 棚田を通じたネットワーク化の促進及び地域の活性化を図ることと
して、第14回全国棚田（千枚田）サミットを雲仙市（清水棚田）、長崎市（大中尾棚田）において開催した。
- 4 第 次
【16日】（1）開会式（長崎県立総合体育館）
【開催地挨拶：藤井副知事】
（2）基調講演：東京農工大学 千賀教授
（3）事例発表：長崎市立神浦小学校
（4）現地見学（長崎市大中尾棚田）
【17日】（1）現地見学（雲仙市清水棚田）
（2）5分科会・首長会議（雲仙温泉街各杉林等）
（3）全体交流会（雲仙メモリアルホール）
【18日】（1）事例発表：雲仙市立千々石第二小学校（雲仙メモリアルホール）
（2）分科会発表
（3）共同宣言
（4）閉会式

5 県の対応

- ・「日本の棚田百選」県内認定6地区の写真パネル展示
- ・「長崎県のだんだん畑十選」認定地区の写真パネル展示
- ・「長崎の農業・農村写真コンテスト」入賞作品の展示
- ・中山間・棚田地域のPRビデオの放映
- ・中山間・棚田地域PRパンフレットの配布
- ・長崎県の観光マップの配布
- ・世界遺産のPRパンフレットの配布
- ・作業スタッフ97名派遣（3日間通算）
- ・負担金400万円

6 参加者数

開 会 式	1, 200名
分科会	1, 000名
全体交流会	600名
大会期間	1, 800名（重複なし）
	2, 800名（重複あり）

第14回全国棚田（千枚田）サミット開催状況



晩秋の長崎。爽やかな秋風になびく黄金色の稲穂をイメージし、10月16日（木）から18日（土）、第14回全国棚田（千枚田）サミットを長崎市と雲仙市で開催しました。幸運にもお天気は見事な秋晴れ。ちよっと汗ばむぐらいの陽気で、中には日焼けした方もチラホラ。主催者の心配などどこ吹く風の3日間でした。

今回のサミットには、全国36都道府県、北は北海道から南は沖縄まで、韓国から参加者も含めて1,800人、3日間の延べ参加者は2,800人と多数のみなさまで大変賑わった大会となりました。

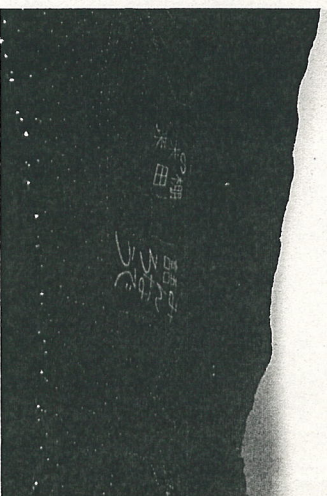
長崎市の「フリーナカぶとがに」で開会式のあと、東京農工大、干賀裕太郎先生による基調講演でスタートしたサミットは、長崎市神浦小学校の児童による事例発表後、棚田百選の地長崎市外海地区の「大中尾棚田」へ移りました。

ここでは、東シナ海に沈む絶景の夕日を眺め、5,500個



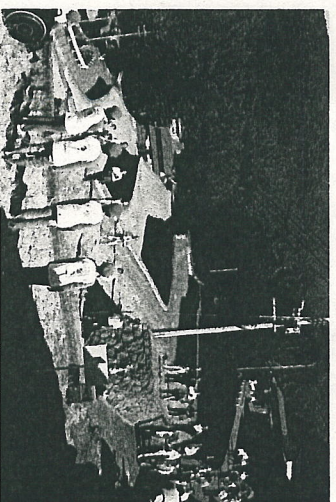
の手作りのランソブが棚田を浮かび上げらせる演出に参加者も絶句の美しさでした。

続いて2日目はダイナミックな石垣の棚田が特徴の雲仙市清水棚田へ場所を移し、先人が築いた見事な芸術作品を地元の方々や小学生の説明を聞きながらの見学会。お昼は稲刈り直後の棚田の中で、特製棚田米弁当に舌鼓をうち、目とおなかを満喫しました。



午後からは、雲仙市で6つの会場に別れ、5つの分科会と首長会議が行なわれ、各会場とも予定を上回る参加者で、テーマに沿った熱き議論が展開。3時間を感じさせない中身の濃い分科会でした。

分科会終了後の午後6時から、みなさまお楽しみのお全体交流会が雲仙メモリアルホールで行なわれ、600人の参加者で盛り上がりました。雲仙の各ホテル旅館の調理師さんが腕を振った料理や外のテ



ントでは「ちゃんぼん」などの地元郷土料理もあり、ヒートアップした会場では、太鼓や二胡の演奏、鑑武者演舞や奇祭「鳥刺し」など多彩な舞台演出でこれまた賑わった交流会でした。

最終日は、雲仙メモリアルホールにて、雲仙市立千々石第二小学校児童による事例発表から始まり、各コーナーコーナーによる分科会の発表、そして両市の棚田保全団体代表による「共同宣言」を行い、最後に

